

2. 令和の首里城復興

火災の被害を受けた首里城。現在、首里城はどのように復興作業が行われているのかな？

2019年の首里城火災

2019年10月31日夜、首里城正殿で火災が発生し、正殿や北殿、南殿をはじめとした主要な建物、所蔵されていた文化財が焼失しました。この出来事は沖縄県民に大きな衝撃を与え、世界中にもそのニュースが伝えられました。



復興への動きとたくさんの寄付

多くの人たちが悲しみにくれましたが、だちに復興の計画が立ち上がり、国内外からの寄付金は60億円(2024年10月末現在)にものびました。正殿は2026年の完成をめざして工事が進んでいます。



首里城復興基金

首里城火災からの復興のために使用します。

首里城未来基金

首里城を未来へ継承するために使用します。P16で解説!



2度目の木曳式

2022年11月、正殿の起工式に合わせて材木を国頭村から首里まで運ぶ木曳式が行われました。平成の復元から続いて2回目となる今回、国頭から切り出したオキナワウラジロガシが運ばれ、木曳パレードと木遣行列が行われ、音楽芸能などが奉納されました。



2022年11月3日 木遣行列

令和の復元とその特徴

首里城復元

2026年の完成をめざすよ!

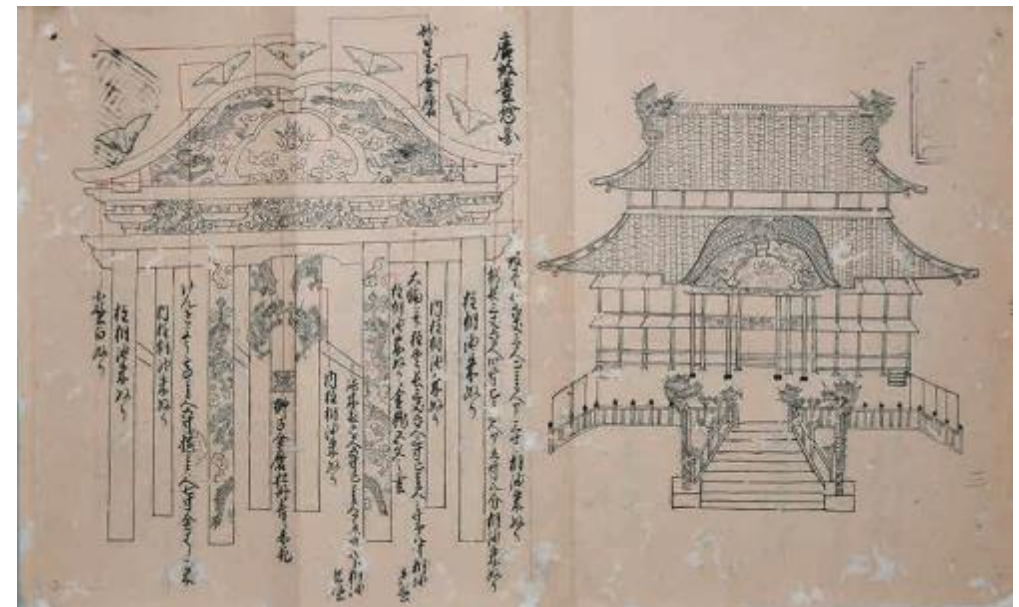
段階的公開

復興の様子をみえるように公開!

地域復興・観光復興への貢献

地域と一緒に盛り上げ、未来に技術を受け継ぐ

首里城の復元は、きちんとした歴史の資料にもとづいて再現する方針になっています。令和の復元では、新しく見つかった首里城の記録や、新しくわかった調査・研究の成果を取り入れて、前回の姿を受け継ぎながらバージョンアップした首里城になります。



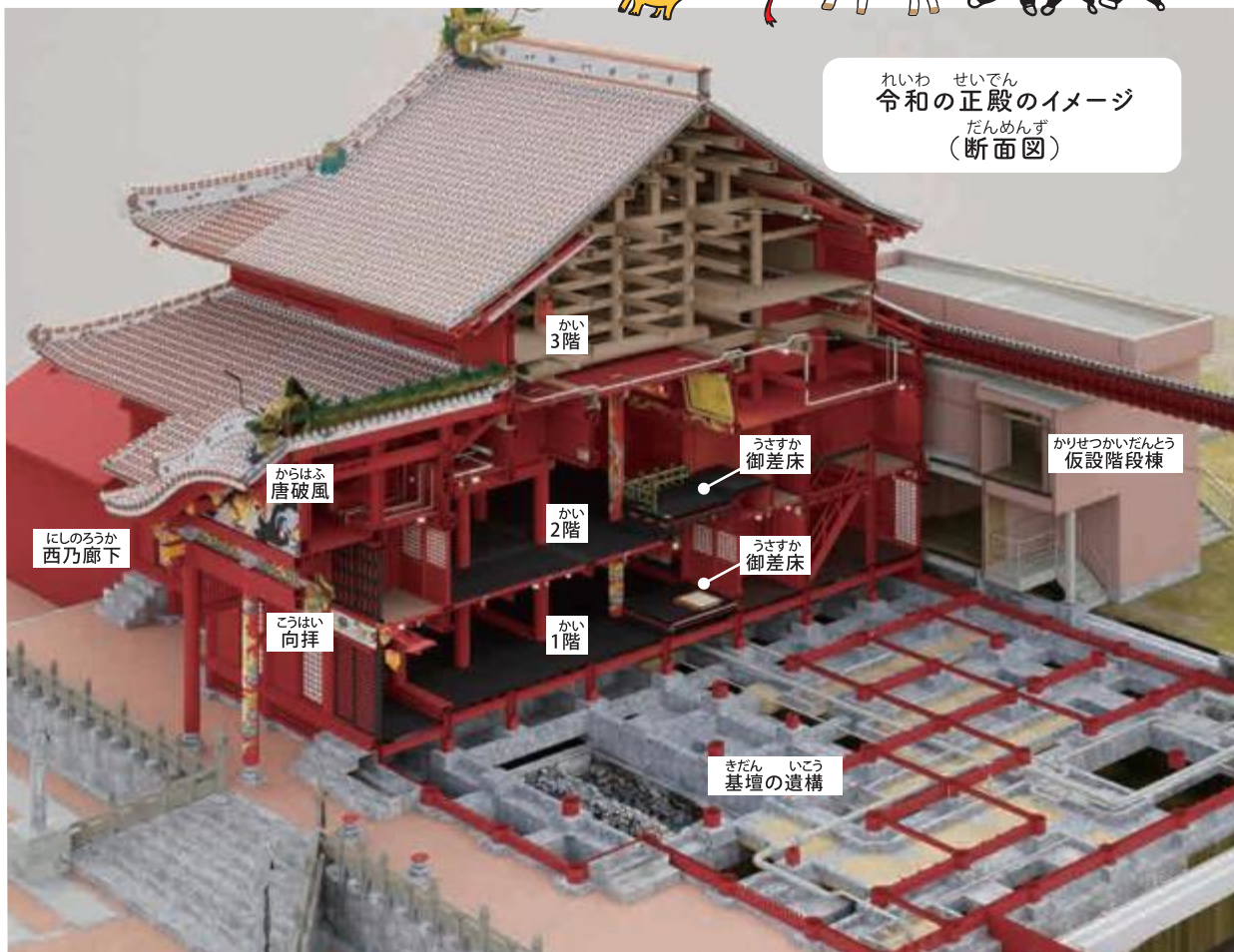
尚家文書「百浦添御普請絵図帳」/那覇市歴史博物館所蔵

平成・令和の
復元箇所
の比較をしてみよう！

令和に復元される正殿は、平成の時とまったく同じではなく、
新たな発見や資料をもとにリニューアルされたところが
いくつかあります。平成と令和のちがいをくわしく見てみよう！



令和の正殿のイメージ
(断面図)



1. 正殿2階天井裏の
小屋丸太梁の「木材」は
どう変わるのかな？



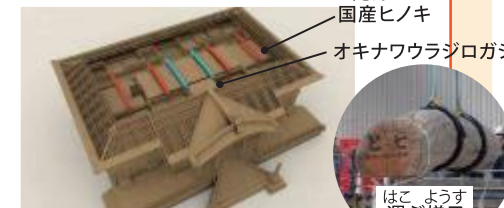
平成の復元

九州産の「オキナウラジログシ」を
6本使用



令和の復元

沖縄県産の「オキナウラジログシ」
を中央2本に使用



国頭から切り出したオキナウラジログシを使用しました。

2. 正殿2階の御差床にある
「扁額」のデザインは
どう変わるのかな？



平成の復元

地板の色は「朱色」の漆。
額縁は漆に金箔使用



令和の復元

地板の色は「黄色」の変更。
額縁は彫刻に



令和2年に「修復された古文書」の記述をもとに変わります。

※令和の復元はすべてイメージ画像です。

3. 正殿の2階にある、「御差床高欄」のデザインは、どう変わるのかな？



平成の復元

しまこ柱・欄干柱が楕円型

はしら
柱イメージ



令和の復元

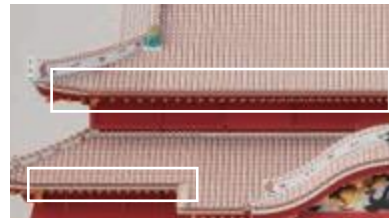
しまこ柱が「逆T字変形型」、欄干柱が「逆T字型」

はしら
柱イメージ



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

4. 首里城正殿の屋根の軒先、「軒丸瓦」のデザインは、どう変わるのかな？



平成の復元

「横向き」の牡丹



令和の復元

「正面向き」の牡丹



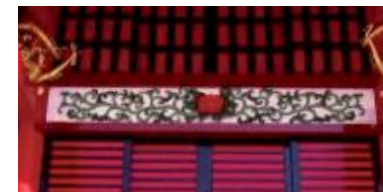
出土品や瓦の遍歴の分析結果に基づいて変わります。

5. 向拝奥の「彫刻物の文様（牡丹・獅子・唐草）」は、どう変わるのかな？



平成の復元

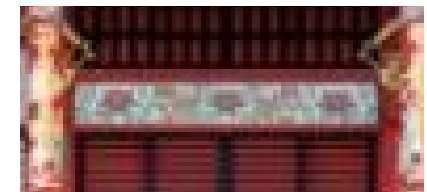
真ん中にある1つの「牡丹」と「唐草の模様」



出典:(一財)沖縄美ら島財団

令和の復元

3つの「牡丹」と「唐草の模様」、1対の獅子へ



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

6. 向拝奥の「彫刻物(左右の獅子)」は、どう変わるのかな？



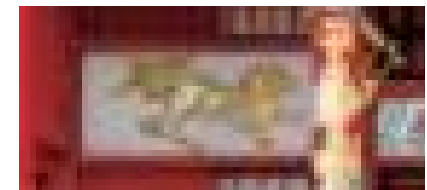
平成の復元

白い四角の真ん中に収まるサイズ。顔は「下向き」にある



令和の復元

サイズが1.3倍大きくなり、顔が「上向き」に



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

※令和の復元はすべてイメージ画像です。

2. 令和の首里城復興

円覚寺山門



沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵
鎌倉芳太郎撮影

しゅりじょうとなり
首里城の隣に
てら せいび
あるお寺も整備
されます

おうじ ていたく
王子の邸宅
たても
だった建物も
ふくげん よてい
復元される予定

中城御殿



首里城とともに進む 琉球文化の復興

しゅりじょう ふつこう しゅうへん れきしてき
首里城の復興とともに、周辺にあった歴史的な
たても りゅうきゅうおうこくじだい ぶんかざい
建物や琉球王国時代の文化財、
でんとうげいのう つぎつぎ
伝統芸能なども次々とよみがえろうとしています。
りゅうきゅうぶんか も あ しゅりじょう すがた
琉球文化も盛り上げることで、首里城の姿が
よりあざやかにみえてくるはずですよ。



玉御冠 (模造復元品) 沖縄県立博物館・美術館所蔵

りゅうきゅう ぶんかいざん さいげん
琉球の文化遺産を再現して、
ぎじゅつ う つ
その技術を受け継ぎます

伝統芸能



出典:(一財) 沖縄美ら島財団

しゅりじょう
首里城でも
えん
演じられて
います



黒漆雲龍螺鈿東道盆 (模造復元品) (原資料:一般財団法人沖縄美ら島財団所蔵)
沖縄県立博物館・美術館所蔵

まとめ

ねん む ちゃくちゃく しゅりじょう ふつこう すず こくないがい おお おうえん
2026年に向けて、着々と首里城の復興は進んでいます。国内外からも大きな応援を
う おきなわ ひと ちから しゅりじょう ふつこう しゅりじょう
受け、沖縄の人たちも力をつくしています。そして首里城の復興にくわえ、首里城のま
わりにあった ぶんかざい れきしてき ふうけい れきし う だ おんがく
文化財や歴史的な風景をとりもどし、歴史のなかで生み出された音楽
げいのう びじゅつこうげい いっしょ おきなわ も あ ほんとう ふつこう
芸能や美術工芸なども一緒に沖縄で盛り上げていくことが、本当の復興につな
がっていくかもしれません。

せんじん う つ ぶんか みらい つた
みなさんも先人たちから受け継いだ素晴らしい文化を未来に伝えていきましょう!



出典:(一財) 沖縄美ら島財団